

学外研修報告（総合技術研究会 2019 九州大学）

共通機器部門・情報基盤機器管理班 開内 幸治

1. はじめに（目的等）

今回参加した総合技術研究会 2019 九州大学は独立行政法人の研究機関、国立高等専門学校機構に所属する技術職員が職務遂行上有益な知識を取得すること、及び意識の啓発と資質の向上を図ることを目的とした全国規模の技術研究会である。一般的な知識や業務に関連する知識の習得および業務の成果発表のため参加した。

2. 期間・場所

期間：平成 31 年 3 月 6 日～8 日

場所：九州大学大橋キャンパス（3/6）

九州大学伊都キャンパス（3/7、3/8）

3. 参加者等

大学、高等専門学校、研究機関等に所属する技術職員 823 名

4. 研修内容

1 日目は大橋キャンパスにて芸術工学部見学会に参加し、2 日は安全衛生技術講演会（3 件）、特別講演と口頭発表を聴講した。3 日目にポスター発表を行い、その後口頭発表を聴講した。

5. まとめと感想

芸術工学見学会では音響特殊実験棟・画像特殊実験棟・工作工房の見学を行った。その中で音響樽を体験したが本当に現場にいるような臨場感が味わえた。画像系ではモーションキャプチャや 3D スキャン装置などの大型装置を見ることができた。工作工房では機器にテープで色分けすることで学生が自由に扱えるものや使用難易度が一目で分かるように工夫されていた。

ポスター発表では演習・実習時に利用できるランダム座席表生成ツールについてポスター発表を行った。ツールについては具体的なインターフェースの実装よりランダムに座席を指定するアルゴリズムについての質問が多く、ランダムに学生をグループ分けするニーズが他機関にあることが分かった。また、ランダムに配置することで学生の私語を妨げる効果について質問された。最近の学生の質が変化していると感じていたが他機関の技術職員も同様に苦労されていることが分かり有意義であった。

口頭発表では情報系分野を聴講した。直接関係があることは少なかったが興味を引く内容もあったので後日調べて知見を広めたいと感じた。